



推薦入試を考える ～ 人の目の付け所というもの ～

もちろん、大学入試は一般入試で独力で勝ち取るのが基本だ、と考えられる。しかしながら、入試形態には様々ある。学校から推薦されるに値する人物として認められ、大学も同様に、人物たると認めると、合格を勝ち取ることができる。推薦入試には、指定校・学校推薦・自己推薦等があるが、いわば学校の看板を背負っていくものである。大学等での継続的な努力が必要だ。ここでは、推薦入試に焦点を絞って、大学が推薦入試受験者に何を期待しているのか考える。

一般入試＝「確かな学力」を期待。それと比して、

推薦入試＝「豊かな個性」を期待。

「豊かな個性」とは、「考える力」「行動する力」「伝える力」の3つといえる。

次に、その3つの力とは何か、という問題。

- ①「考える力」＝きっかけや事実の伝達ではなく、「論理・オリジナル性」備えた知的能力。
- ②「行動する力」＝アクションを起こし、歪体験を増やすことで備えた「社会性」認識力。
- ③「伝える力」＝自分の言葉で話すこと。文章ではなく、キーワードを元に「訴える」力。

ということが出来るだろうか。

また、「行動する力」には「読書」力も付け加えたい。「本を読む」ことだ。「本を読む」ことは想像力を鍛えること。認識レベルの向上に結びつくとともに、「根拠」ができる。ものを言う必然性ができる。必然性ができた人というのは、自信をもってものを言う。訴えることができる。

参考までに、次のような書籍を挙げる。ぜひ参考とし、入試対策に生かしてほしい。

→「アエラ.MOC」「系統別小論文対策」「日本の論点」「図解まるわかり時事用語」他新書本…

【重要】 (詳細は、既に配布の資料を確認。わからないところは担任・進路課へ相談。)

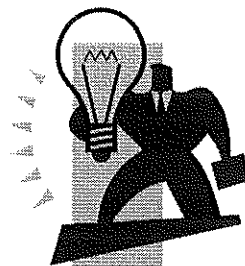
◎推薦(AO)出願手続き (出願用書類は、担任に申請。進路資料室レターケース内にある。)

- ①「推薦(AO)入試受験願(自己推薦含む)」→担任へ提出。
(推薦会議を経て、推薦が許可されたら、以下の流れで、出願準備に取りかかる。)
- ②「推薦(AO)入試出願申請書」
- ③「調査書等作成申込書」

→担任へ提出。

○各自、願書(出願書類)を記入。

※担任が「推薦書」「調査書」(出願先を表書き。密封。)を作成。点検の上、出願する。(受験者が個人で行う。)



◆推薦入試は11月1日からの出願が主であるが、先行して出願の場合もある。(AO入試)

まずは、要項(出願書類)を入手し、受験者が自分自身で内容を熟読すること。

出願は、センター試験での学校一括出願以外は、すべて受験者自身が個別に行う。

(もちろん、誤りが生じないように、学校でも点検をするが、基本を外さぬよう。)

◆基本は、基礎学力(客観学力)の充実。その基礎の上に立って、はじめて人格・人徳が光る。

授業第一。たとえ、推薦入試と並行していても、そればかりに偏らぬよう努めてほしい。